

守破離



修学旅行に関して～お願い～

修学旅行で、3年生のみんなは東京という大都会で人の多さを体感します。電車を乗り継ぎ、歩き回ったり、食べ慣れた給食や家庭での食事ではなく、自分たちで決めたところで食べたりします。普段とは違う環境で、緊張しながらも、ワクワク・ウキウキしながら過ごします。慣れないところで過ごすと、大人でも気づかないうちに、疲れが出たり、体調を崩したりしやすくなります。修学旅行中、みんなが体調を崩さないように万全を期して、無事に行程を終えることができるように尽力したいと思います。万が一、体調を崩したり、けがをしたりした場合は、次のように対応させていただきますので、ご確認ください。よろしくお願ひします。

- ①病院を受診し、医師の判断により、集団と一緒に行動することができないと判断された場合
ホテルで待機し、保護者の方に迎えに来ていただきます。
- ②病院を受診し、医師の判断により、集団と一緒に行動してもよい(行動できる)と判断された場合
 - 1：体調が回復するまでホテルなどで休養し、体調回復後、集団に合流します。
 - 2：体調が回復するまでホテルなどで休養していたが、回復が見込めず集団に合流できない時は、保護者の方に迎えに来ていただきます。

なお、このような状況に備えて、保険に入っています。保護者の方が東京に迎えに来られる時の交通費やお子さんの追加の宿泊費などは保険が適用されます。ただし、保険適用には条件がありますので、保険で全額支払われなかったり、適用されなかったりする場合があります。保険が適用されるかどうかは保険会社の判断になります。なお、病院での診察費は保護者の方の負担となります。

このような状況にできるだけならないように、食事や睡眠、ホテルでの過ごし方など、体調を崩さないように心がけることをご家庭でもお子さんと一緒に話をしていただけたいと思います。

また、体調を崩す原因の1つとして、水分を取らずに過ごし、脱水症状になるということがよくあります。今回の修学旅行では、水筒を持っていきません。その代わりに1日1本ペットボトル(500ml)の水を配布します。しかしそれだけでは、足りない場合もあるかと思ひますので、1日目の夜、2・3日目に飲むお茶か水のペットボトルをご準備ください。くれぐれも、ジュースなどお茶と水以外のものは持ってこないようにしてください。

本日、しおりの読み合わせを行い、日程・持ち物などの確認を行いました。しおりを持ち帰らせています。この週末に準備を進められることと思ひます。修学旅行に際して、新たに何かを購入される必要はあまりないと思ひます。修学旅行は単なる旅行ではありませんので、持ち物ついて、修学旅行の目的なども考えていただき、準備をしていただけたいと思ひます。決まりなどについても、基本的には普段の学校生活と同じです。もし、修学旅行に関して、ご不明な点等ありましたら、学年主任の福田仁までお問い合わせください。

<修学旅行の目的>

1. 日本の政治・経済・文化の中心地である東京で見聞を広め、社会を生きるための基礎的素養を培う。
2. 東京大学での学問体験や企業研修、その他の研修を通して、卒業研究や将来を考えるきっかけとする。
3. 学年、学級の仲間の絆を深めたり、新たな交友関係を築いたりしながら、集団生活のルールやマナーを身につける。